

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	あひろば田原			
○保護者評価実施期間	令和 8年 1 月 8 日 ～ 令和 8 年 2 月 3日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名 (23家庭)	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	令和8年 1 月 8 日 ～ 令和8年 1月 24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 名	(回答者数)	4 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもと保護者のニーズを十分理解した 個別支援計画書の作成	丁寧な面談を意識しています。適宜保護者様から些細な出来事困りごと等傾聴し、コミュニケーションを深め、保護者様との信頼関係構築に努めています。	今後も丁寧な面談を心掛けて参ります。また保護者様・御利用児のニーズに寄り添っていきます。
2	多彩なプログラム内容	日々様々なプログラム内容を行っております。児童達が楽しめる内容を含め、挑戦したくなる内容を取り入れています。また、自分で目標を選択し挑戦するプログラムも行い、自己選択能力が向上出来るようにしています。	児童からの貴重な意見を大切に今後も来所が楽しみになるようなプログラム構成を行っていきます。
3	環境整備	以前よりも開放感のある空間になり児童達も体をたくさん使って活動出来ております。室内でのアスレチックも増え、より充実して過ごせています。	今後も児童達が楽しめる空間・環境を整えて参ります。アスレチック等の安全も日々安全管理を怠らず、安心・安全な環境をご提供して参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流	感染症等の状況もありますが、出来る限り地域と関われるようなプログラム・交流の場を検討して参ります。	その時々の変化・状況に合わせて、臨機応変に対応を行っていきます。
2	非常時の対応	電話のみでの御連絡になっておりますが、迅速に対応出来る方法を今後検討致します。少しでも保護者様のご不安を減らせるよう、職員間での連携を強化して参ります。	非常時のみならず、日頃からの連絡事項も迅速な対応を心掛けて参ります。
3	連絡の周知度	職員間での連携が上手く図れていない所も御座いますが、今後職員教育を含め、保護者様への連絡事項に漏れがないよう徹底して参ります。	日々の昼礼等の時間に全職員での意見の認識合わせを強化して参ります。今後もなにか御不明点等御座いましたら教えていただけますと幸いです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あひろば田原	公表日				令和 8年 3月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・事業所移転に伴い、より充実した設備となり十分な広さを確保しています。 ・2階部分にはアスレチックスペースもあり、より利用様が楽しめるようになっています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・十分な職員配置で支援を行っています。 ・様々な資格保有職員が配置されています。 他事業所からの応援職員が配置可能で、臨機応援に対応しています。	・ 今後は保護者様にもご安心頂けるよう、掲示物を用いて。職員配置の提示を行って参ります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・視覚的に伝える環境調整エリアの明確化がされています。フロア全体段差のない設計、玄関も広いスロープを設けております。 ・プレイルーム、個室が分かりやすく区切られています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・日々、清掃を行い、清潔に保たれています。運動療育に特化した様々な運動器具も設置された空間になっています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		学習室・クールダウンが出来るよう、2部屋の個室が設けられ、必要に応じて使用出来る環境になっています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・定期的にミーティングを行い、情報の共有を行い、統一した支援に取り組んでいます。	・ 特に個別支援の策定にあたっては、職員間で話し合い、児童発達責任者を通して日々の支援に反映させています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年に1回アンケートを実施、公開し業務改善に活かしています。	・ アンケート結果を経て、保護者様の意向等をありがたく受け止め、改善点は職員間で共有し、早急に業務改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎日の朝礼、昼礼を含め、年2回面談の場を作り、職員が話せる環境を設けております。またその中で出た意見を取り入れながら、業務の改善に務めております。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・現在は第三者による外部評価を行っていませんが、状況に応じて検討を行っていきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・社内研修を始め様々な研修に参加させて頂けており、各職員それぞれが自分に必要な知識・技術を身に付けられるようになっております。	・ 今後も職員のニーズや状況に応じて、効果的な研修を行い、日々の支援の中で活かしていきたいと思います。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・毎月事業所職員と話し合いを行い、プログラムを作成しております。弊社HPでも掲載させて頂いております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・6ヵ月に1回保護者・御本人と面談を行ってります。その中でニーズの把握・分析を行い、職員間での会議を実施し、計画を作成しております。	・ 今後も利用者様のニーズ・保護者様の御意見をもとによりよい計画の作成を行って参ります。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・担当者会議を開催し、全職員が参加をし、検討を重ねながら共通理解を図っております。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画更新時には都度計画内容を確認するミーティングを行っています。また共有した上で支援に従事しております。	・ 今後も全職員の意見を取り入れながら、よりよい支援・計画の作成を行って参ります。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・アセスメントツールを活用し、状況把握に努めております。 ・視覚的な支援も行い、見える化している。	・ 今後も児童様の状況に合わせ、ツールを活用して参ります。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・保護者・御本人の面談でニーズを把握しながら、必要な項目（5領域）を設定し、具体的に分かり易い支援内容を計画しております。 ・本人様の状況に合わせた支援内容の作成、目標の設定を行っております。	・今後ご安心頂ける支援内容の作成・設定を行い、児童様の成長に関われるよう務めて参ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・全職員が意見を持ち寄り立案に関わっております。	・今後も児童様が楽しめる内容の作成を含め、保護者様・職員も一緒に楽しめるプログラムの作成が出来るよう全職員で意見交換を行って参ります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・利用児童様にあったプログラム・4つの基本活動を取り入れ、児童様がわくわくするような内容を計画しております。また検討時には職員間で意見交換を行っております。	・今後も利用者様含め、保護者様にも楽しんで頂ける内容を考えていきたいと思っております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・特性に応じた内容、組み合わせで計画を作成しております。	・より専門性の高い計画を作成出来るよう職員での情報共有をしっかりと行って参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日朝礼、昼礼の時間を設け、その日のプログラム等の確認、情報共有をしています。	・「報告」「連絡」「相談」を重視しつつ、職員にとってやりやすい、伝わり易い環境整備を計っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・朝礼時に前日の振り返りを行う時間を設けております。また朝礼以外の時間にも振り返りを行い、支援向上に務めております。	・送りの送迎や営業時間の関係から当日中に伝えられない場面もありますが、翌日の朝礼時等での共有に努めています。 気になることやトラブルがあった場合にはより迅速に正確に共有出来るように努めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・毎日欠かさずに行っております。支援目標に対しての達成度を含め、支援方法やそれに伴い、児童様の御利用時の様子も記入しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・年に2回、6カ月に1回保護者様との面談、計画の見直しを行っております。	・児童様の御利用状態に合わせ、計画の見直しも行って参ります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・様々な活動を行い、全ての基本活動に取り込み合わせています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・選択肢を複数準備・用意し、活動内容を自分で選択できる環境を工夫しています。	・児童様の意見を尊重しながら、より自己決定が出来る環境を整えていきます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童の担当者、児発管・施設長が参加させて頂いております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・協力機関（医療）の体制を整えています。 ・保護者様からかかりつけ医の情報を利用開始時に頂いております。	・必要に応じて医療機関の方々も加えた会議の場を設けております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・必要に応じて学校より下校表を頂いております。また送迎が前後する際には学校にご連絡を行っております。	・今後も学校との連携を図り、児童様が安全に通所出来る環境を整えていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・移行会議が開催された際には参加させて頂いております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・必要に応じて移行会議に参加させて頂き、放デイでの御様子、情報共有を行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		・現在は行っておりませんが、今後必要に応じて取り入れて参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・1度のみではありますが、児童館との交流を行いました。今後も相互の調整を行い、継続してまいります。	・まだ大きな交流を持つ活動は出来ておりません。今後感染症等の状況を見ながら検討して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・その時々に合わせて、担当者が参加しております。	・今後は、協議会で話し合った地域の課題などについて、より事業所内でも積極的に話し合い、職員一人ひとり問題意識を持って頂けるよう働きかけていきます。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡帳を活用したり、保護者お迎え・御自宅送迎時に些細な事でもお伝えしております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・保護者様のニーズに応え、必要であれば柔軟に対応・助言を行っております。	・明確な実績はまだありませんが、保護者様のニーズに応じて提供していきたいと考えています。また職員の研修も積極的に行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・御契約時に保護者様にご納得頂けるよう、詳しく説明行っております。	・今後もご不明な点がございましたら、お気軽にお申し付け下さい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者様と面談の時間を設け、ニーズの確認を行っております。また状況に合わせ可能な限り児童との面談も行っております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・計画説明の時間を設け、計画書を示しながら説明、同意を保護者様より得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・御相談がありました際、迅速に対応しております。必要な助言・支援を提供しています。	・お困りごとやお悩みごとについて、随時承っております。お気軽にご相談下さい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・現在は行っていないですが、子育ての悩みや情報の交換を進めていくため、保護者様同士の交流の場の設置について必要に応じて検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・迅速かつ適切に対応しております。	・お困りごとやお悩みごとについて、随時承っております。お気軽にご相談下さい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月のプログラムやお知らせの配布を含め、HPにてブログの更新、SNS(Instagram)で活動の様子を発信しております。	・今後とも、あひろば田原での活動を広く知って頂ける取り組みを随時行っていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・十分に配慮しています。保護者様より同意得た児童様のみアップする等、留意しています。	・今後も情報の取り扱いには細心の注意を払い、安心して通所や情報交換が出来るように努めて参ります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・適切に対応しています。必要に応じて口頭だけではなく、連絡帳等にも記載させて頂いております。	・今後も柔軟かつ迅速、臨機応変な対応が出来るよう努力して参ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・まだまだ招待する機会は少ないですが、季節の行事、イベントを通して交流の場を図っていきます。	・感染状況に左右されてしまう事も御座いますが、地域の方々と交流出来る場を検討していきたいと思っております。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・全てのマニュアルを策定し、玄関口の手に取りやすい位置に掲示しております。また定期的に避難訓練を行ったり、防災センターに出掛け、体験する場を設けております。	・防犯対策マニュアル、緊急時の対応マニュアルについても、保護者様に広く周知出来るような取り組みを検討していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定し、年に2回避難訓練の時間を設けていきます。地震・火災を想定していたり、最近では不審者対策の訓練も行いました。	・災害・防犯等可能性のある状況を想定し、より危機感を持った訓練を実施していきます。今後更に災害に備えた道具を順次整備して参ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・保護者様と都度情報交換を行っています。服薬管理時は全職員への共有も行い、間違いがないよう徹底しております。	・状況に応じて、医療機関も交えながら対応や連絡体制についての情報共有を図っていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・必要な児童様には対応しています。クッキング・おやつ時は特に配慮を行い、慎重に対応しています。	・今後も適切に対応して参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・児童様、職員が安全に過ごせるよう、日々様々な視点からの安全管理、点検を行っています。研修やヒヤリハットの共有を通じて環境整備をしています。	・今後も児童様を含め、保護者様が安心して頂けるよう、安全管理・点検を怠らず、日々行っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・日々のご様子等をしっかりとご連絡させてしております。ご不安点にもしっかりと対応出来るよう努めております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事例があった際は迅速に共有の場（会議）を設け、状況の共有、再発防止に必要な事を話し合っています。	・再度同じ事例が起きない、再防止策を全職員で周知し、実施して参ります。

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・定期的に職員への虐待防止についての研修の機会を設け、職員間での理解を深めています。	・今後も定期的な研修の機会を設け、理解を深めて参ります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・利用者様御契約時に身体拘束等の禁止について記載しており、しっかり御説明を行っております。	